

令和6年度 市民病院事務局組織目標

組織名	市民病院事務局	部長	上所 美樹子
組織の目的・方向性	基本理念と基本方針にのっとり策定した新・中期計画に基づき、地域で必要とされる質の高い医療を安定して提供し続けるために、7対1看護体制を維持し、高度急性期・急性期機能を有する病院として、働きがいのある病院運営を目指しながら、健全な経営を推進します。		
(参考) 関連する総合計画における政策指標*			

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

市民病院事務局組織目標

<p>令和6年4月より開始された医師の働き方改革を推進するため、適切な労務管理などにより医療スタッフを支え、医療DXによる業務改善に取り組むとともに、病院の健全な経営を推進するために、市民病院事務局では、以下3点を重点目標とします。</p> <p>重点目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 経常収支の早期黒字化を目指します。 2 医師の働き方改革を推進します。 3 国が推し進める医療DX政策をタイムリーに実現します。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	3	達成数	2
取組結果	<p>経常収支については、入院単価は上昇したものの患者数は微減したこと、給与費が大幅に増加したことなどで赤字幅が拡大し、目標達成に至りませんでした。</p> <p>医師の働き方改革推進については、文書発信や会議の場において周知・啓発を行い、目標を達成しました。</p> <p>医療DX政策については、RPAなどを用いて業務負担の軽減に取り組み、工数の削減を実現しました。</p>				
今後の方向性	<p>経営状況の院内周知による職員のコスト意識の向上、適正な執行管理及び外部コンサルタントの活用による収支改善により、経営の健全化を目指します。</p> <p>医師の働き方改革推進については、医師の時間外労働規制を達成し時間外勤務を削減できるよう、制度の周知及び取組の啓発に取り組みます。</p> <p>医療DX政策の実現については、引き続きDXによる院内業務の負担軽減に取り組みます。</p>				